

平成30年3月24日
職員研修発表会
栄養ケアチームより
看取りケアについて

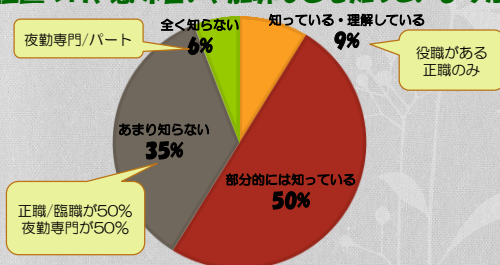
社会福祉法人 芦別慈恵園
くらし事業部 お客様連携係
介護支援専門員 滝 口 千 秋

平成30年度
医療、介護の同時改定
特養での看取りはどうなる…

慈恵園での看取りケアを
どう考えていますか？

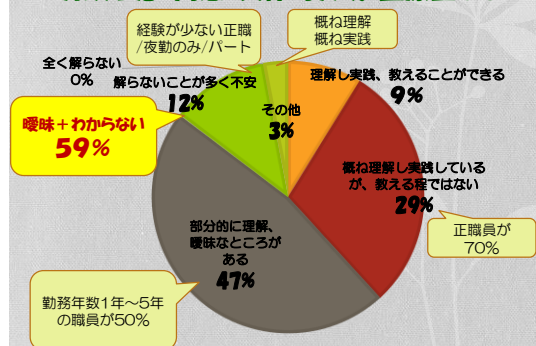
※アンケート
長期入居に係わる介護職員43名
回答率：79%

①介護保険での特別養護老人ホームの看取りケアの
位置づけ、意味合い、加算などを知っていますか？



介護保険制度のすべてを知ることは難しくても関心を持つことは大事
園として特養の看取りを推進している現状は知るべき
暮らす地域の現状は、自分たちの仕事に大きく影響をしている

②慈恵園の看取りケアを理解していますか？
＜介護理念・同意・具体的実践・医療面など＞



③慈恵園の看取りケアで一番大事なものは？

お客様、ご家族の意向を尊重する
できるだけ寝たきりにすることなく関わる
その人らしい最期になるようにケアをする
ご家族と一緒に過ごす時間を大切にする
ご家族と看取る
食事の工夫をして、最期まで口から
一人一人のお客様に合わせたケア

芦別慈恵園 介護理念

ひとり一人の生活や暮らしを大切にします
最期の時まで口から食べる食事の工夫をします
ご家族と一緒に看取ります

④慈恵園の看取りケアで疑問に思うことは？

看取りケアになる境目がわからない、どの時点から看取りケアなのか…
あまり来園されていなかったご家族に、何をどこまで説明して良いのか…
ご家族が看取りに同意していても、どこまで理解しているかわからない
看取りに同意された後に、ご家族の中で疑問がでてくる

揺れ動いているご家族の気持ちに対しどう関わるのか

⑤経験した看取りケアで「良かった」と思うこと、 心に残っていることは？

自宅へ帰ることができた ご家族に看取られて旅立たれた
皮膚トラブルがなく綺麗な身体で最期までいられた
好きな物を口から食べることができた 仲の良いお客様も訪室してくださった
100歳のお祝いに参加できた 亡くなる瞬間に立ち会えた
思い出レシビができた
ご家族が「ここで最期で良かった」と言ってくださった
それぞれの関わりがあり、それぞれの思いがある看取りケア

⑥経験した看取りケアで「残念」「失敗」「後悔」と 思っていることは？

必要な物が準備できていなかった 変調がわからなかった
皮膚状態が悪くなってしまった
個別レクを先延ばしにしているうちに看取りの時期が来てしまった
絶飲食になるタイミングが思っていたより早くなってしまって…
トイレに行きたいと言われたが
介助に関わる職員のことを考えてしまい発信できなかった
ご本人の思いに答えられなかったことが一番の後悔になる

⑦今後の看取りケアについて ＜思うこと、行ってみたいこと、要望など＞

口腔ケアなどの具体的なケア ご家族に説明できるようになりたい
自分たちから多職種に発信ができるようにしたい
各職種としっかり連携したい 教えるほどに理解してゆきたい
「慈恵園で良かった」と思ってもらえるケアを日頃からしたい
入居前から、すでに始まっている看取り時期
→看取り期により良いケアをするために…

・介護職員の思いは確かにある ・多職種との連携



特養だからできる看取りケアを

～特養らしい
看取り介護～

自分らしく生き抜いた
Ｙ様の軌跡





104歳のF様からの
ご長寿引き継ぎ会



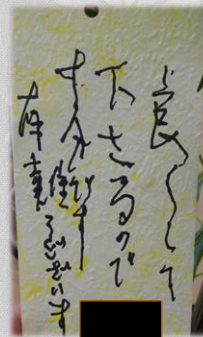
大好きなうどんを食べるY様
<当時100歳>

101歳のお誕生日には

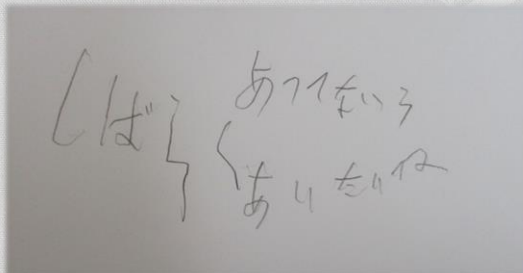
「生きるためには
働いて稼ぐこと」

※101歳の時の
七夕の短冊

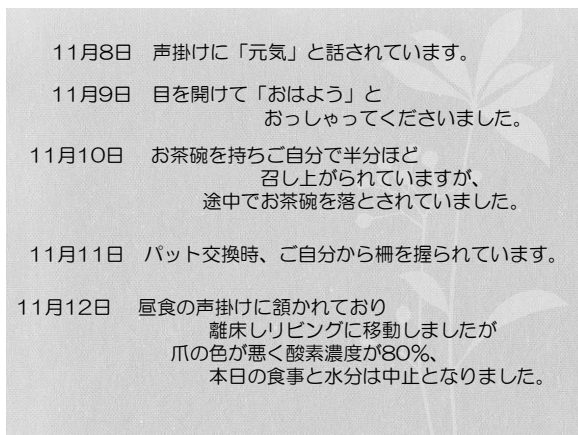
「良くして下さるので十分です
有難うございます」

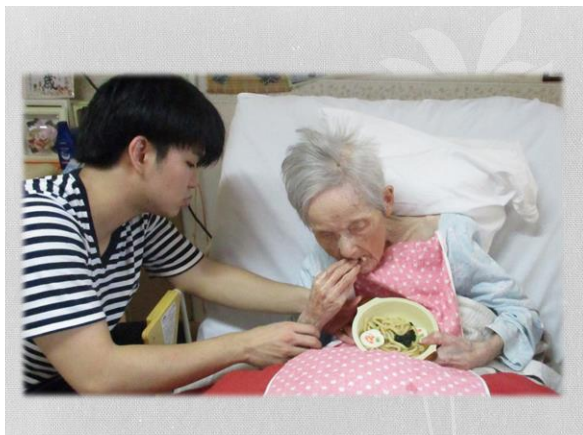


102歳の時の息子様への手紙



しばらく あってない あいたいね





11月14日 昼食時にミキサーのうどんを3口

午後から酸素開始、ご家族が来られ付き添い

21:42 永眠 104歳5か月

医師から「立派ですね」とのお言葉が

「食べるの好きだったから良かったね」

「こんなふうに死にたいもんだね」



芦別慈恵園 介護理念

ひとり一人の生活や暮らしを大切にします
最期の時まで口から食べる食事の工夫をします
家族と一緒に看取ります

アンケートに
ご協力いただいた
介護職員の皆様

ありがとう
ございました

ご清聴ありがとうございました